

「語りもんそ」

Vol.59 令和元年 10月 31日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪ カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ”

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●9月29日(日)は、堀之内夏菜子さん(ピアノ)と手塚洋子さん(メソソプラノ)のお二人で、J.ブラームス作曲「日曜日」、鈴木輝昭作曲「モーツァルトの百面相より」、H.ギルム作詞・R.シュトラウス作曲「何も」、H.ギルム作詞・R.シュトラウス作曲「献呈」、高野喜久雄作詞・高田三郎作曲「くちなし」、J.マーサー作詞・H.マンシーニ作曲「ムーン・リバー」、L.V.ベートーヴェン作曲「月光 第3楽章」、G.ピゼー作曲「歌劇『カルメン』より ハバナラ」、Miyabi 作詞・村松崇継作曲「いのちの歌」全9曲とアンコールに「愛の讃歌」が演奏されました。

お客様から「表現力豊かなピアノと伸びのあるメソソプラノの演奏に癒されました。“月光”は大好きな曲なので情熱的な演奏を聴くことができ、良かったです」

「声楽とピアノのアンサンブルが素晴らしかったです。それぞれの曲の背景を感じながら楽しく聴くことができ素敵な時間を過ごすことができました」

「手塚さんの透明感溢れる声に癒されました。堀之内さんのピアノもとても素晴らしく特に“月光”は感動しました」などの感想をお聞きすることができました。



手塚洋子さん(メソソプラノ) 堀之内夏菜子さん(ピアノ)

●10月27日(日)は、脇絢乃さん(ピアノ)と上之段祐佳さん(ピアノ)のお二人で、W.A.モーツァルト作曲「4手のためのピアノソナタ ハ長調1楽章 K.521」、C.ドビュッシー作曲「小組曲」、喜久邦博作曲「星のささやく夜に」、佐々木邦雄作曲「大洋の鼓動」、A.ピアソラ作曲「ミケランジェロ' 70」、A.ピアソラ作曲「リベルタンゴ」全6曲とアンコールに、NHK 大河ドラマ「西郷どん メインテーマ」がピアノ連弾で演奏されました。



脇絢乃さん（ピアノ・左端） 上之段祐佳さん（ピアノ・右端）

○お客様に感想をお聞きしました

・江田博美さん

「ピアノ連弾を聴く機会はありません、今日間近で聴いてその壮大さに感動しとても癒されました。子どもたちも時折リズムに乗る様子があり楽しかったようです。お二人の演奏に感動しました」

～未来の舞台芸術を担う若者がここから羽ばたく～
 （公財）鹿児島県文化振興財団アーティストバンク
 登録アーティスト紹介公演

若葉コンサート

9月25日（水） 19時 宝山ホール

出演は今年度新たに登録されたアーティスト5名と昨年度登録されたアーティスト1名の演奏・演技がありました。

◆赤石悠さん（ストリートダンス・昨年度登録）

ピアノ 久木田章子さん

・『無』

振付：赤石悠



◆福原明音さん（チェロ）

・無伴奏チェロ組曲第1番ト長調 作曲 J.S.バッハ
 前奏曲 アルマンド サラバンド
 メヌエットI/II、ジーク



◆永里奈々恵さん（ピアノ）

・ドゥムカ～ロシアの農村風景～作品59

作曲 P.I.チャイコフスキー



◆久保園舞佳さん（メゾソプラノ） ピアノ 竹下智子さん

・「6つの歌曲」より 私は暗い夢の中で立っていた Op.13-1
 作曲：C.シューマン

・オペラ『カルメン』より ハバネラ

作曲：G.ビゼー



- ◆ 若月仁美さん (ソプラノ) ピアノ 井手口希歩さん
- ・「最後の陶醉」 作曲：O.レスピーギ
- ・歌劇『カプレーティ家とモンテッキ家』より
「ああ幾たびか」 作曲：V.ベッリーニ



- ◆ 早坂卓さん (バリトン) ピアノ 竹下智子さん
- ・歌劇『死の都』よりアリア
「私の憧れ、空想はよみがえる」
作曲：E.W.コルンゴルト
- ・歌劇『フィガロの結婚』より レチタティーヴォとアリア
「訴訟に勝っただと？～私のため息をついている間に」
作曲：W.A.モーツァルト



○お客様に感想をお聞きしました

・豊留ちひろさん

「友人が出演するので聴きにきました。それぞれの出演の時間がしっかりとってあったので、一つひとつじっくり聴くことができよかったです。演奏や表現に詳しくない私にも凄さが伝わるパフォーマンスで楽しかったです」



第11回 歴史作家 桐野作人 講演会

島津義弘の戦い

～没後 400 年を迎えて～

10月1日(火) かがしま県民交流センター 県民ホール

島津義弘公没後 400 年を迎えるにあたり、武功際立つ猛将のイメージとは異なり、妻・家来を大切にし、兄義久を最後まで敬い、他藩の武将からも一目置かれた島津義弘の波乱万丈の生涯と、義弘に影響を与えた人物や出来事について紹介されました。

○お客様に感想をお聞きしました

・坂口尚子さん

「島津 4 兄弟をはじめ、晩年の宰相への手紙など興味深い話を桐野先生の写真や地図を交えた分かりやすい解説に、島津家の当時の様子が生き生きと浮かんできて、約 3 時間飽きることなく楽しく聞けました」

・杉光智子さん

「関ヶ原の戦いしか知らなかった義弘公が家族だけでなく家来など人を大切にされた人柄もわかり、とても興味深い講演でした。入場受付時に配布された歴史資料は講演を聞くにあたりとても助かりました」



宝山プレゼンツ

フ란ツ・バルトロメイ

チェロリサイタル

10月24日(木) かがしま県民交流センター 県民ホール

チェロ：フランツ・バルトロメイ

ピアノ：大迫 貴

演奏曲目

I 無伴奏チェロ組曲 第1番ト長調 BWV1007
J.S.バッハ作曲

プレリュード、アルマンド、クーラント、
サラバンド、メヌエット、ジーク

II チェロソナタ 第2番 二長調 Op.58
F.メンデルスゾーン作曲

【第1楽章】アレグロ・アッサイ・ヴィヴァーチェ

【第2楽章】アレグレット・スケルツァンド

【第3楽章】アダージョ

【第4楽章】モルト・アレグロ・エ・ヴィヴァーチェ

III アダージョとアレグロ Op.70
R.シューマン作曲

IV 愛の喜び F.クライスラー作曲

V 愛の悲しみ

VI 美しきロスマリン

VII ウィーン わが夢の街 R.ジーツィンスキー作曲

〇お客様に感想をお聞きしました

・福崎 希さん

「無伴奏チェロ組曲は、バロックの音楽が伝わってくる透き通った音と表現でホール全体に響いてくる印象がありました。

“アダージョとアレグロ Op.70” はチェロの落ちついた音が映え、丁寧で聴き心地よい音色だった。

クライスラー作曲の“愛の喜び”と“愛の悲しみ”はバルトロメイさんの愛の表現が様々でいろいろな愛を自分の音で表現できることにとても憧れを感じました」



・宮田璃乃さん

「間近で聴くチェロの音色はとても素晴らしく、世界を魅了しているフランツ・バルトロメイさんの息遣い、演奏の偉大さを感じました。

祖母がフランツ・バルトロメイさんの20年来のファンということもあり、その方の演奏を家族で楽しむことができ、とても幸せな時間を過ごすことができました」



終演後、フランツ・バルトロメイさんのサイン会

宝山ホール広報ボランティア 『語りもんそ』編集部
〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行